

令和6年3月19日

高知大学医学部附属病院による市民公開講座

「HPV（ヒトパピローマウイルス）ワクチンのお話」を開催します

日本では平成15年6月から、HPV（ヒトパピローマウイルス）ワクチンの副反応問題のため、接種勧奨の差し控えが約9年間続いていました。しかし、HPVワクチンの効果と安全性に関する多くの知見が得られたため、令和4年4月より定期接種の積極的接種勧奨（対象者にワクチンの接種券や、ワクチンの効果及び安全性に関する内容のリーフレットが送られること）の再開と、情報が届かなかつたために接種機会を逃した女性への無料キャッチアップ接種が開始となりました。

高知大学医学部附属病院は、HPV 予防接種拠点病院整備事業の四国ブロックの代表医療施設となっており、医療機関・自治体・関係団体等との連携のハブとして、都道府県・市町村・医師会・学校関係者・予防接種センター等との連携を構築し、情報共有を行っています。

この度、その取組の一環として、3回目となる市民公開講座「HPV（ヒトパピローマウイルス）ワクチンのお話」の開催を決定いたしました。

本件について、広く高知県民の皆様にご広報できればと考えておりますので、取材方、宜しくお願いたします。

なお、事前取材、当日取材のどちらでも対応可能ですので、取材をご希望される場合は以下の問い合わせ先までご連絡いただきますよう、お願いたします。

日 時：令和6年3月24日（日）14：00～15：30（開場は13：30）

場 所：イオンモール高知2F イオンホール

及び YouTube によるライブ配信

講 師：工藤 梨沙 新潟大学医歯学総合病院 産婦人科 助教

参加費：無料

問い合わせ先

高知大学医学部附属病院 医事課医事係 田中

Tel：088-888-2871

E-mail：ir04@kochi-u.ac.jp